

(様式1-表)

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	53	豊田市立 飯野小 学校	代表	大村 斎人
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	生き生きと活動し ともにかかわり 伝え合う飯野っ子		分野	i	その他
	サブテーマ	— 体験活動を通して、人（仲間・地域の方）とのかかわりあいを深めよう —	(その他) は分野を右欄に記入	勤労体験	
学校づくりの視点（ねら）	本校の教育目標「真剣に勉強する子 なかよく助け合う子 最後までやりぬく子 体をきたえじょうぶな子」の実現のため、社会の変化に対応できる教育の推進及び教師集団づくりをめざしている。具体的には、下記のような重点を定め、努力している。 ・学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ子を育成する ・基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健全な子を育成する ・互いのよさを認め合い、周囲と助け合って生きようとする態度を育成する ・子どもの成長が見える学校づくり、共通理解のもと機能する体制づくりを推進する ・共感的に学び合う集団づくり、わかる授業の創造に努める ・子どもとともにあり、ともに活動し、子どものよき手本となる教師集団づくりに努める ・ねらいを明確にした活動計画をもとに、めざす子どもの育成に最後まで努力する教師集団づくりに努める				
活動内容・計画	○子どもが主体となり花や野菜の栽培活動、縦割り活動を推進する。その中で、互いに認め合い、感謝し合う活動を行うことを通して自己有用感を高める。（校内整備員の活用） ○「かかわろう 伝えよう」をめざし、異学年との交流活動を取り入れる。ともに活動する経験を通して子どもたちの信頼関係を築き、心身ともに健全な子の育成を図る。そして、互いのよさを認め合い、周囲と助け合って生きようとする態度を育てる。（心の相談員の活用） ○地域ボランティアや地域教材など、地域の教育力の活用を推進することで、自分たちが暮らす地域の魅力に触れ、「ふるさと」に対する意識を育てる。 【花や野菜の栽培活動】 1年：花や野菜を育てよう。 2年：夏野菜を育てよう。 3年：大豆を栽培し、加工して、豆腐やきな粉を作ってみよう。 4年：ゴーヤを育て、収穫して、ゴーヤパーティーをしよう。 5年：米作りについて調べ、地域の方とともに米を育て、収穫し、大地の恵みに感謝しよう。 6年：ジャガイモの栽培活動を通して、人とのかかわりあいを深めよう。 ひまわり（特別支援学級）：栽培した野菜で調理実習やお楽しみ会をしよう。 委員会・クラブ活動：食生活見直しキャンペーン。F B Cに向けての花壇づくり。				
補助員配置	校内整備員				
実績・期待される効果	地域の方や校内整備員の協力を得て、稲や花・野菜などを栽培し、収穫の後には感謝する交流会や環境委員が育てた花の苗を配布して事業所や地域の方に感謝の気持ちを伝えることができた。5年度は、感謝する交流会や事業所の訪問などで環境委員会が育てた花を配布した。また、長年「花ボランティア」の方の協力を得て花壇づくりを続けており、委員会を中心に子どもたちがボランティアの方とふれあいながら花壇作業に参加している。美しい花壇を見て飯野小学校を誇りに思う子ども見られるようになり、花壇づくりに参加する地域の方もやりがいを感じている。 6年度も、「体験活動を通して、人（仲間・地域の方）とのかかわりあいを深めよう」をサブテーマに、体験活動でのかかわりあい、さらには学習したことを伝え合い、発信していくかかわりあいを深めていきたい。引き続き地域の方や校内整備員の協力を得ることで、栽培活動の充実を図りたい。また、こうした活動の基盤となる心身ともに健全な子の育成を図るため、地域の方の協力を得ることで互いのよさを認め合い、周囲と助け合って生きようとする態度を育てていくことができると期待する。今後も地域の方や保護者と一緒に作業したり教えてもらったりする機会をもち、地域の教育力を積極的に取り込んでいきたい。そして、活動の様子を子どもの姿や声を取り入れながら学校ホームページで紹介していきたい。特色ある学校づくり推進事業について、保護者・地域の方が正しく理解していただけるように発信していくことで、本校の教育活動への理解が深まり、家庭・地域と学校がともに手を携えて子どもを育てることにつながることを期待する。				
検証方法	・活動する子どもの表情、声（教師による観察）、活動後の感想、まとめと発表。 ・ボランティアの方の声、感想と保護者アンケート。 ・ホームページへのアクセス数。				